



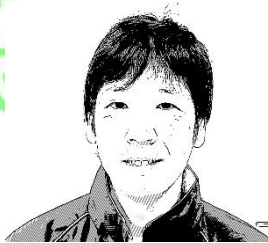
# 訪問看護だより

(vol. 6 2021年春増刊号)



4月から、新しいスタッフ3名を迎え、看護師11名、事務1名の12名でスタートです。利用者様・ご家族の思いに寄り添い、安心して在宅で過ごしていただけるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## ごあいさつ



合原 健美

4月から訪問看護ステーションに配属となりました、合原建美（ごうはらたけみ）と申します。

看護学校や一般病棟、ICU病棟を経験し、そこで学んだことを活かし、利用者さまやご家族に安全と安楽、信頼できる看護が提供できるように頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

4月から訪問看護ステーションに異動になりました。病棟や救急での経験を活かしつつ、在宅で過ごされている利用者様や介護者様のお手伝いが看護を通してできるように頑張りたいと思っています。

よろしくお願いいたします。



寺田 麻衣子

ご縁があり、こちらのステーションで4月から新しく出発させていただくことになりました。

戸惑うところも多々あると思いますが、皆様にご迷惑をおかけしないよう、笑顔で頑張っていきます。

利用者様にお会いできるのを楽しみにしております。

よろしくお願いいたします。



福井 光

# ベッド周りは <sup>アイ</sup>愛 デアでいっぱい



全身の痛みで身体が自由にならないYさん。

日中ご主人はお仕事に出られるので、ベッド上で一人で過ごされています。



ベッドサイドに上から吊り下げられているのは、テレビリモコン・お茶の入ったボトル・孫の手・薬など、どれもYさんには必要なものの数々。すべてゴムで繋がられています。



このキャップを見てください。キャップを2個重ねて大きくし、痛みの強い時でも少しの指先の力で開けられるように、工夫されています。中には痛み止めの薬が入っていて、ゴムを引き寄せキャップを開けて自分で服薬されています。ヘルパーや看護師を待たず、痛いときにすぐに薬が飲めるように、痛みを我慢しなくてよいように・・・

右の写真は、横に向きたいときに自分で体位を変えられるように、ベッド柵につけられた取手です。手が痛いときにも使いやすいように、柔らかい配線用チューブに包帯を巻いてあります。



すべてご主人の<sup>アイ</sup>愛デアで作られました。

奥様をととても大切に思っていらっしゃるのですね。



お困りごとがあれば、訪問看護スタッフにご相談ください。

ご家族の愛には及びませんが、

『12人寄れば文殊の知恵』で、何か良い<sup>アイ</sup>愛デアが生まれるかもしれません!(^)!